

(抄訳)

AIG は、米国財務省が AIG 普通株式の売出しを開始したことを発表

ニューヨーク 2012 年 9 月 9 日ーアメリカン・インターナショナル・グループ・インク (ニューヨーク証券取引所銘柄:AIG) (「AIG」) は、本日、米国財務省が 1 株当たり額面 2.50 ドルの AIG 普通株式 (「AIG 普通株式」) 180 億ドル分の売出しを開始したことを発表しました。また、米国財務省は、本売出しの引受人に対し、オーバー・アロットメント分 (もしあれば) をカバーするため、行使期間を 30 日として、27 億ドルを上限とする AIG 普通株式を追加的に購入するオプションを付与する予定です。

米国財務省の売出しに関連し、AIG は、米国財務省に対し、既に公表された AIG 取締役会の承認に基づき、本売出しにおいて、50 億ドルを上限として、当初の売出価格で AIG 普通株式を買い戻す意向を示しました。

本売出しにおいて、シティグループ、ドイチュ・バンク・セキュリティーズ・インク、ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーおよびジェー・ピー・モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが引き続き、ジョイント・グローバル・コーディネーターを務める。メリル・リンチ・ピアーズ・フェナー・アンド・スミス・インコーポレイテッド、パークレイズ・キャピタル・インク、モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・エルエルシー、アールビーシー・キャピタル・マーケット・エルエルシー、ユービーエス・セキュリティーズ・エルエルシー、ウェルズ・ファーゴ・セキュリティーズ・エルエルシー、クレディ・スイス・セキュリティーズ(USA)・エルエルシーおよびマッコーリー・キャピタル(USA)・インクが引き続き、ジョイント・ブックランナーを務めます。

本売出しは、米国証券取引委員会 (「SEC」) に提出される AIG の発行登録届出書に基づき、追補目論見書及び付属目論見書のみによって行われています。本売出しに関する追補目論見書及び付属目論見書の写しは、入手可能となった時点で、SEC のホームページ(www.sec.gov)から、または(i)シティグループ・グローバル・マーケット・インク (Brooklyn Army Terminal, 140 58th Street, 8th Floor, Brooklyn, New York 11220 目論見書部 (Prospectus Department) 宛、電話番号 800-831-9146 もしくは電子メール batprospectusdept@citi.com)、(ii)ドイチュ・バンク・セキュリティーズ・インク (60 Wall Street, New York, NY 10005-2836 目論見書部 (Prospectus Group) 宛、電話番号 1-800-503-4611 もしくは電子メール prospectus.cpdg@db.com)、(iii)ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー (200 West Street, New York, New York 10282 目論見書部 (Prospectus Department) 宛、電話番号 866-471-2526 (フリーダイヤル)、ファックス 212-902-9316 もしくは電子メール prospectus-ny@ny.gmail.gs.com)、または(iv)ジェー・ピー・モルガン・セキュリティーズ・エルエルシー (1155 Long Island Avenue, Edgewood, NY 11717 ブロードリッジ・フィナンシャル・ソリューションズ (Broadridge Financial Solutions) 宛、電話番号 866-803-9204)、のいずれかに連絡することにより、入手することができます。

本プレスリリースは、本プレスリリースに記載される株式について売付けの申込みまたは買付け申込みの勧誘をなすものではありません。また、当該法域における証券法等に基づく登録または認定より前に募集、勧誘または販売することが違法となるようないかなる法域においても、株式の販売は行われません。

#

本プレスリリースには 1995 年私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) の意義の範囲内で「将来の見通し」に関する記述が含まれている。特に、本売しまたは購入を完了させることができる保証はない。かかる将来の見通しに関する記述は、過去の事実ではなく、将来の事象に関する AIG の考えのみを表している。その多くは性質上本質的に不確実なものであり AIG に制御可能な範疇を超えている。連邦証券法により要求される重要な情報の開示につき AIG が引き続き負う義務を除き、AIG は、たとえ新たな情報、将来の事象またはその他の事由が生じても、書面または口頭を問わず、その見解、目標、予測やその他の記述を更新または変更する義務を負わず、またそのような義務を明確に否認する。

#